



はは歯クラブだより

NO.08



長崎市鳴見台小学校

学校歯科医 行成 哲弘



医療法人

こんにちは！！ ゆきなり小児・矯正歯科 です。

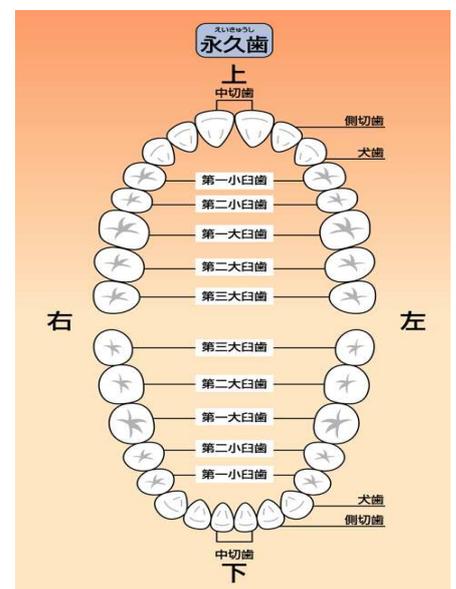
『シーラント』というものをご存知でしょうか？？初めてこの言葉を聞いたという方もいらっしゃるかもしれません。今回は『シーラント』についてお話します。

“シーラント”とは、歯にある溝の部分だけにお薬をうすく埋めるむし歯予防のことです。シーラントをする事で、歯の溝の中に汚れがたまりこむのを防ぎむし歯ができにくい状態にすることができます。

だいたい6歳頃に《6歳臼歯》といわれる永久歯が、そのまた奥に12歳頃に《12歳臼歯》といわれる永久歯が生えてきます。永久歯は乳歯に比べて溝が深くて複雑です。その上一番奥の部分に生えるので生えた事に気づきにくいのです。しっかりと歯ブラシがとどきにくいこともありとてもむし歯になりやすいのです。

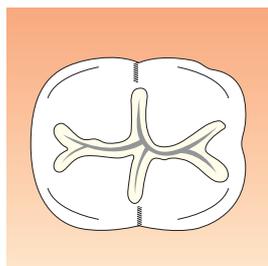
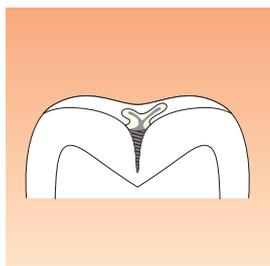
(※右図参考)

6歳臼歯＝第一大臼歯、12歳臼歯＝第二大臼歯)



歯がまだ生えている途中で溝が部分的にしか見えていない時には、フッ素入りのお薬（セメント）を溝にすり込み、汚れが入らないようにして溝を保護します。

歯が完全に生えてきて溝が全部見えてしまったら、今度はプラスチックのシーラントを溝の部分だけにうすく流します。同様に横のほうの歯（第一、第二小臼歯）の溝にもプラスチックのシーラントを流すこともあります。



もうすでにむし歯になってしまっている場合には、シーラントができないこともありますので歯科医院でお口の検査をしてもらい、また定期的に見てもらった方が良いでしょう。

詳しくは ホームページをご覧ください。
「ゆきなり」で検索すると簡単です。

<文責 ゆきなり小児・矯正歯科 歯科衛生士 大久保>

